

令和5年度 高山南商工会 経営発達支援計画評価委員会評価表

評価項目	評価委員の意見 改善点などの指摘事項	各委員の評価									総合 評価	自己評価（令和5年度の取組み状況）	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		成果・課題等	評価
①地域の経済動向に関する事	・経済動向調査レポートで周知できた。 ・事業承継について流れを詳しく聞きたい。 ・地域動向調査に関して実施できているより事業者さんが活用しやすいようなデータや利用方法など検討してもらえると良いと思います。 ・目標以上の事業者に対し調査が行われている。 ・目標数が達成されています。	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	・達成することができた。 全国連委託事業で製造業3者・建設業2者・小売業4者・サービス業6者を対象に景況調査を年4回実施し地域産業の状況や経済動向等について報告書を提出。地域経済動向調査レポートを年4回発行。周知方法は当会HP掲載と巡回や郵送による配布。	A
②需要動向調査に関する事	・展示会以外の目的の達成方法を模索し次年度では新しく目的を達成できるように検討してほしい。 ・ネットのロコミ分析といった効果的な情報提供ができています。 ・データの提供が難しいと思われる。 ・目標数がほとんど未達となっています。 ・出展意欲がある企業が少数であるため、その支援もできないのが現状かな？ ・アルコピアスキー場の廃止、Aコープ撤退など地域独自の要因についても調査分析とその対応は必要ではないかと思われた。 ・調査の方法等。 ・事業者の説明呼びかけ。 ・業種別に呼びかけが必要。	D	D	D	D	B	D	D	D	D	D	・ほとんど達成できなかった。 市場ニーズに適しているか、優位性が持てるか、判断を行う材料として、ネットロコミを分析。調査結果は、商品の改良や新商品開発に活用するためのデータとして提供した。 展示会等の出展支援が実施できなかったため、来年度はイベント等の参加事業者に対する調査支援に取り組む。	D
③経営状況の分析に関する事	・経営に役立つ情報が提供され良かった。 ・財務状況を知ることで方向付けができて良いと思う。 ・目標に掲げた事業者数数の分析ができています。 ・前年より増加し目標数も達成されています。	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	・達成することができた。 日本政策金融公庫で推奨している財務診断ツールなどを活用し、管内の事業者17件の過去3年間の決算書より、収益性、生産性、安全性などについて業種別の経営指標と比較した。経営分析から課題を抽出、経営者に財務状況を知ってもらうことで経営上の様々な活用や判断に役立ててもらうことができた。	A
④事業計画策定後の支援に関する事	・経営計画が策定できた。 ・有意義なセミナーが開催されている。 ・講習会など実施して内容などは良いが管内事業者さんが参加してもらえるような対策を検討してもらえると良いと思います。 ・もう少し参加事業者を増やす取り組みを。 ・策定支援については案件により偏りがみられます。 ・セミナーのオンライン併用など。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	・おおむね達成できた。 講習会では、生成AI技術について学ぶDXセミナーを開催。計画書策定に関しては、経営計画を策定することは、自社の強みや弱みの掘り起こし、市場の動向などの外部環境を把握することで戦略を立てることができると、計画の重要性や必要性が事業者理解してもらった。事業承継は第三者承継含め掘り起こしにより計画作成に繋げる。	B
⑤事業計画策定後の支援に関する事	・フォローアップができた。 ・これから事業者支援をお願いしたい。 ・より多くの事業者に貢献できるように指導をお願いします。 ・定期的なフォローアップが適切に行われている。 ・項目が多数ありますがほとんどが未達となっています。 ・物産展への出品支援は評価しつつも事業効果・成果の分析が重要と考えられることから次回以降に繋がらねたい。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	・おおむね達成できた。 策定した事業者には、定期的なフォローアップを行うことができた。計画書通り進行しているかの確認や軌道修正などを行った。持続化補助金などを活用した事業者は、補助事業の効果・成果を検証し期限内に実績報告書が提出できるように支援できた。	A
⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	・情報提供の不足。 ・出展者が少ない展示会・商談会その他の説明、魅力が必要ではないか？ ・事業者がより参加しやすい、費用がかからない、手間が少ない事業など考えて実施してほしい。 ・外部に行けないならSNSやWEBを効果的に使えるよう検討してほしい。 ・展示会や商談会など具体的な取組を積極的に実施できると良い。 ・今後も補助金活用事業を実施してほしい。 ・情報収集。 ・ECサイトの活用の検討。	D	D	B	D	D	D	D	D	D	D	・ほとんど達成できなかった。 持続化補助金を活用した事業者にSNS活用を提案し投稿を開始した。またWEB支援として、マップ検索から正確な店舗情報や写真が表示されるよう支援した。 ニッポン全国物産展への出品について、事業者に情報提供し出品までの支援を行った。 展示会・商談会・マッチング支援が実施できなかったため、来年度は事業者が参加可能な各イベント等への出展前の段階から需要動向調査（アンケート）、フォローまで支援を行う。	D
⑦地域経済の活性化に資する取組み	・支援補助金を十分活用できた。 ・大いにやってほしい。 ・イベントに合わせて管内事業者に対して商工会の活動や事例のPRを積極的に行い更なる地域事業者へ新しい支援に繋いでいけるような取組を実施してほしい。 ・独自の地域経済の活性化に資する取組が行われた。 ・販売促進の各種取り組みは事業効果も高いと思われ、継続した実施が望まれる。地域活性化イベントの持続可能性を確保するための商工会組織のより一層のアシストが必要と思われる。（商工会青年部が主体的な取組としておりバックアップできる取組が求められる）	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	発達支援計画にはないが、販売促進事業として夏季の売上増加を狙い、参加事業所の販売促進に向けた取り組みを紹介する共同チラシを作成した。また、年末年始における誘客と地元消費拡大を狙い、総額30万円のキャッシュバックキャンペーンを実施した。観光振興事業として、地域活性化イベントに協賛・協力した。今後も市や県の支援補助金を活用した事業を積極的に実施していきたい。	A

評価基準: A 達成することができた。 B おおむね達成することができた。 C 半分程度しか達成することができなかった。 D ほとんど達成することができなかった。 E 未実施